

2022（令和4）年度

情報理工学部 読替科目等対応表
（夜間主コース）

2022年4月

令和4年4月1日

情報理工学部関係学生各位

教務課学域教務係

情報理工学部開講科目の再履修について（通知）

平成28年度4月に情報理工学部が改組され、情報理工学域となりました。情報理工学部の在在学生については、情報理工学部学生として、原則として、卒業するまで入学時に配布した学修要覧に記載されているカリキュラム表に従い授業を履修して頂きますが、正規の開講学期を過ぎた授業科目については、順次閉講していくこととなります。

このため、再履修を要する学生や休学等により授業を履修できなかった学生が、これらの正規の開講学期を過ぎた授業科目を履修する場合は、下記により履修してください。

記

令和4年度に情報理工学部開講科目を履修する場合は、次のいずれかによること。

1. 情報理工学部学生用として開設される「再履修クラス」の授業を履修する。
2. 情報理工学域で開講される授業を履修する。

（例）昼間コース専門基礎科目「化学概論」（2単位 前学期）を再履修する場合は、読替科目である情報理工学域昼間コース「化学概論第一」（2単位 前学期）を履修する。この場合、単位を修得した場合は、「化学概論」の単位として成績がつくことになる。

（情報理工学域時間割で対応科目の曜日・時限を確認すること。）

※履修する科目がどちらに該当するかは、別紙「令和4年度情報理工学部 読替等科目対応表」で確認してください。

不明な点は、教務課学域教務係（2番窓口）で確認してください。

情報理工学部 先端工学基礎課程(夜間主コース)

総合文化科目・実践教育科目

科目区分	授業科目	単位数	必修 選択 の別	再履修 クラス	読替科目(情報理工学域)			開講 学期	備 考
					開講 所属	学域科目名	単 位 数		
総 合 文 化 科 目	人文・社会科学科目	哲学	2	○	学域K	哲学	2	1	令和4年度開講せず。
		倫理学	2	○		倫理学	2	1	令和4年度開講せず。
		心理学	2	○		心理学	2	1	令和4年度開講せず。
		歴史学	2	○		歴史学	2	1	令和4年度開講せず。
		科学史	2	○		科学史	2	1	令和4年度開講せず。
		文学	2	○		文学	2	1	令和4年度開講せず。
		美術	2	○		美術	2	1	令和4年度開講せず。
		音楽	2	○		音楽	2	1	令和4年度開講せず。
		社会学	2	○		社会学	2	1	令和4年度開講せず。
		経済学	2	○		経済学	2	1	令和4年度開講せず。
		法学	2	○		法学	2	2	
		政治学	2	○		政治学	2	2	
		地理学	2	○		地理学	2	1	
		社会思想史	2	○		社会思想史	2	1	
文化人類学	2	○				令和2年度以降閉講。			
上級科目	科学という文化	2	○	学域K	科学という文化	2	5		
	科学技術と人間	2	○		科学技術と倫理	2	7		
	自然科学の世界像	2	○					平成31年度以降閉講	
	国際文化論	2	○	学域K	国際文化論	2	5		
	国際技術協力論	2	○		国際技術協力論	2	7		
言語文化科目	Academic Written English I	1	◎	学域K	Academic Written English I	1	1		
	Academic Written English II	1	◎		Academic Written English II	1	2		
	Academic Spoken English I	1	◎		Academic Spoken English I	1	1		
	Academic Spoken English II	1	◎		Academic Spoken English II	1	2		
	Academic English for the 2nd Year I	1	◎		Academic English for the 2nd Year I	1	3		
	Academic English for the 2nd Year II	1	◎		Academic English for the 2nd Year II	1	4		
	Academic Presentation in English	1	◎		Academic Presentation in English	1	5		
	Academic Writing in English	1	◎		Academic Writing in English	1	6		
健康科学科目	健康実践論	2	◎	学域K	健康実践論	2	1		
理工系教養科目	宇宙・地球科学	2	○					平成31年度以降閉講	
	現代物理学概論	2	○					平成31年度以降閉講	
	データサイエンス演習	1	○	学域K	データサイエンス演習	1	5	令和4年度より開講	
	環境科学	2	○		環境科学	2	3		
	応用幾何学	2	○		応用幾何学	2	4		
	応用代数学	2	○		応用代数学	2	4		
初年次導入科目	アカデミックリテラシー	2	◎	学域K	アカデミックリテラシー	2	1		
	コンピュータリテラシー	2	◎		コンピュータリテラシー	2	1		
	基礎プログラミングおよび演習	2	◎		基礎プログラミングおよび演習	2	2		
	基礎科学実験	2	◎		基礎物理学実験	1	2	注)原則、両科目を受講すること。	
	総合コミュニケーション科学	2	◎		基礎化学実験	1	2		
産学連携科目	技術課程演習 I	2	◎	学域K	技術課程演習第一	2	5		
	技術課程演習 II	2	◎		技術課程演習第二	2	6		
技術者教養科目	技術者倫理と知的財産	2	◎	学域K	知的財産権	2	7	注)いずれかの読替科目を受講すること。ただし、同じ読替科目を別学期に複数回受講し、「先端トピックスAもしくはB」と別々の単位にはできない。	
					技術者倫理	2	8		
	マーケティング科学	2	◎		先端トピックス	2	7		

注1. ●印科目は、再履修クラス等の別クラスで開講する。情報理工学部の時間割を参照のこと。

注2. 再履修クラスを開講しない科目は、情報理工学域科目に読み替える。読替科目については、情報理工学域1～4年次の時間割を参照のこと。

注3. 再履修クラス及び読替科目は、学修要覧記載のカリキュラム(旧カリキュラム)表と開講学期が異なる場合があるので注意すること。

また、旧カリキュラム科目と読替科目の単位数が異なる場合は、旧カリキュラム科目の単位数で認定する。

注4. 情報理工学域の先端工学基礎課程の略称は、「学域K」とする。

注5. 必修・選択の別欄の◎印は必修を、○印は選択科目を示す。

情報理工学部 先端工学基礎課程(夜間主コース)

専門科目

専門プログラム:情報・メディア・通信プログラムコース(IMC)、電子・機械・制御プログラムコース(EMC)

科目区分	授業科目	単位数	専門プログラム別の必修◎/選択○の別		再履修等 クラス	読替科目(情報理工学域)			備考	
			IMC	EMC		開講所属	学域科目名	単位数		開講学期
基礎科目	基礎微分積分学第一	2	◎	◎		学域K	基礎微分積分学第一	2	1	
	基礎微分積分学第二	2	◎	◎			基礎微分積分学第二	2	2	
	ベクトルと行列第一	2	◎	◎			ベクトルと行列第一	2	1	
	ベクトルと行列第二	2	◎	◎			ベクトルと行列第二	2	2	
	基礎物理学第一	2	◎	◎			基礎物理学第一	2	1	
	基礎物理学第二	2	◎	◎			基礎物理学第二	2	2	
	化学結合と構造	2	○	○			化学結合と構造	2	1	
	基礎解析学	2	○	○			基礎解析学	2	3	
	基礎物理学第三	2	○	○			基礎物理学第三	2	3	
専門科目	応用数学A	2	◎	◎		学域K	応用数学第一	2	3	
	応用数学B	2	◎	◎			応用数学第二	2	4	
	確率統計	2	◎	◎			確率統計	2	4	
	プログラミング通論および演習	2	◎	◎			プログラミング通論および演習	2	3	
	論理回路学	2	◎	◎			論理回路学	2	3	
	電磁気学および演習	3	◎	◎			電磁気学および演習	3	3	
	電気回路学および演習	3	◎	◎			電気回路学および演習	3	4	
	基礎電子工学	2	◎	◎			基礎電子工学	2	4	開講学期に注意すること
	専門基礎実験A	2	◎	—			アナログ回路実験	1	5	注)原則、両科目を受講すること。
	専門基礎実験B	2	—	◎			プログラミング実験	1	5	注)原則、両科目を受講すること。
	離散数学	2	◎	○			アナログ回路実験	1	5	注)原則、両科目を受講すること。
	情報通信と符号化	2	◎	○			プログラミング実験	1	5	
	アルゴリズム・データ構造および演習	2	◎	○			離散数学	2	2	開講学期に注意すること
	制御工学	2	○	◎			情報通信と符号化	2	5	
設計工学	2	○	◎		アルゴリズム・データ構造および演習	2	4			
電子回路学	2	○	◎		制御工学	2	5			
回路システム学	2	○	○		設計工学	2	5			
専門科目	計算機工学	2	◎	◎		学域K	電子回路学	2	5	開講学期に注意すること
	信号処理論	2	◎	◎			回路システム学	2	5	
	電磁波工学	2	◎	◎			計算機工学	2	6	
	組み込みシステム	2	◎	◎			信号処理論	2	6	開講学期に注意すること
	情報メディアシステム	2	◎	○			電磁波工学	2	6	
	知能システム	2	◎	○			組み込みシステム	2	6	開講学期に注意すること
	通信・ネットワーク	2	◎	○			情報メディアシステム	2	7	開講学期に注意すること
	暗号情報セキュリティ	2	◎	○			知能システム	2	8	開講学期に注意すること
	計測工学	2	○	◎			通信・ネットワーク	2	7	開講学期に注意すること
	メカトロニクス	2	○	◎			暗号情報セキュリティ	2	8	開講学期に注意すること
	ロボティクス	2	○	◎			計測工学	2	7	開講学期に注意すること
	ヒューマンインタフェース	2	○	◎			メカトロニクス	2	7	開講学期に注意すること
	専門実験A	2	◎	—			ロボティクス	2	8	開講学期に注意すること
	専門実験B	2	—	◎			ヒューマンインタフェース	2	8	開講学期に注意すること
先端トピックスA	2	◎	○		情報学実験	1	6	注)原則、両科目を受講すること。		
先端トピックスB	2	○	◎		知能機械工学実験	1	6	注)原則、両科目を受講すること。		
輪講A	2	◎	—		情報学実験	1	6	注)原則、両科目を受講すること。		
輪講B	2	—	◎		知能機械工学実験	1	6			
卒業研究A	4	○	—		知的財産権	2	7	注)いずれかの読替科目を受講すること。ただし、同じ読替科目を別学期に複数回受講し、「技術者倫理と知的財産」と別々の単位にはできない。また、読替によって必修の方は単位修得できるが、選択の方は単位修得できない。履修登録は教務課2番窓口にて行う。		
卒業研究B	4	—	○		技術者倫理	2	8			
					知的財産権	2	7			
					技術者倫理	2	8			

注1. ●印科目は、再履修クラス等の別クラスで開講する。情報理工学部の時間割を参照のこと。

注2. 再履修クラスを開講しない科目は、情報理工学域科目に読み替える。読替科目については、情報理工学域1~4年次の時間割を参照のこと。

注3. 再履修クラス及び読替科目は、学修要覧記載のカリキュラム(旧カリキュラム)表と開講学期が異なる場合があるので注意すること。また、旧カリキュラム科目と読替科目の単位数が異なる場合は、旧カリキュラム科目の単位数で認定する。

注4. 情報理工学域の先端工学基礎課程の略称は、「学域K」とする。

注5. 専門プログラム別の必修/選択の別欄の 一印の科目は、当該プログラムコースに開設していないことを示す。